

2025年度 教科課程

救急救命士科

区分	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	(単 位数)	講義概要	
基礎分野	科学的 思考の 基盤	情報科学 Information Processing	必修	演習	45	(1)	パソコン操作の基礎、ワードやエクセル、パワーポイント等のスキルを身につける。
		倫理学 Ethics	必修	講義	15	(1)	現代医療の直面する諸問題を通じて、医療従事者が遵守すべき倫理規範を理解する。
		心理学 Psychology	必修	講義	15	(1)	現代心理学の基礎知識の習得と諸理論が理解できる。
		体育学 Physical Education	必修	演習	60	(2)	基礎体力を向上し消防吏員公務員試験(体力試験)にむけて体力維持ができる。
	人間と 人間生活	一般教養Ⅰ General EducationⅠ	必修	講義	90	(6)	地方公務員試験に必要な教養試験、論文、作文試験等を学習し習得する。
		一般教養Ⅱ General EducationⅡ	必修	講義	90	(6)	地方公務員試験に必要な教養試験、論文、作文試験等を学習し習得する。
専門基礎分野	人体の 構造と 機能	解剖学・生理学 Anatomy・Physiology	必修	講義	60	(4)	人体の構造と機能を中心とした基礎的内容について理解する。
		生化学 Biochemistry	必修	講義	15	(1)	生体を構成する物質の構造と機能、生体内での代謝疾患時の変化などについて基礎的事項が理解できる。
	疾患の 成り立ち と回復の 過程	病理学 Pathology	必修	講義	15	(1)	疾病の病因・病理学像などの基礎的内容を理解する。
		法医学 Forensic Medicine	必修	講義	15	(1)	救急現場で心肺停止状態状態の傷病者に遭遇した場合、概要を把握的確な判断ができる。
		薬理学Ⅰ PharmacologyⅠ	必修	講義	15	(1)	救急救命士として理解すべき医薬品の作用機序・適応・副作用などを中心に理解する。
		薬理学Ⅱ PharmacologyⅡ	必修	講義	15	(1)	主に病院内実習で必要な薬物の作用機序・適応・用量など具体的に理解する。
	社会 健康と 保障	保健医療制度 Public Health	必修	講義	15	(1)	保健医療制度のしくみと医療を取り巻く環境、医療従事者についてわが国の現状を理解する。
		社会保障・社会福祉 Social Security・Social Welfare	必修	講義	15	(1)	社会保障と社会福祉の制度について法改正も含めてわが国の現状を理解する。

2025年度 教科課程

救急救命士科

区分	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	(単 位 数)	講義概要	
専門分野	救急医学概論	病院前医療概論 Introduction to Primary hospital care	必修	講義	30	(2)	救急医療、災害医療、病院前医療体制について学ぶ。消防機関における救急活動の流れ、救急救命士に関連する法令について理解する。
		救急救命処置概論Ⅰ Introduction to Emergency treatment I	必修	講義	30	(2)	救急救命士が現場で行う観察および現場活動の基本を学び、緊急度・重症度の判断力を身につける。
		救急救命処置概論Ⅱ Introduction to Emergency treatment II	必修	講義	30	(2)	救急現場活動で使用する観察資器材の使用目的、適応や使用法等や救急蘇生法について身につける。
		救急救命処置概論Ⅲ Introduction to Emergency treatment III	必修	講義	15	(1)	認定救急救命士ができる処置、拡大2行為の目的、適応、手技について学び、適切な判断能力を身につける。
	救急症候・病態生理学	救急病態生理学Ⅰ Emergency Pathophysiology I	必修	講義	15	(1)	心不全・ショックの病態生理と観察、判断、処置などを中心に理解する。
		救急病態生理学Ⅱ Emergency Pathophysiology II	必修	講義	15	(1)	意識障害の病態生理と救急処置法などを中心に理解する。
		救急症候学 Emergency Symptomatology	必修	講義	45	(3)	重要疾患を鑑別するための症候について理解し、観察、判断、処置などを中心に理解する。
		総合救急医療 Emergency Medical Care	必修	演習	180	(6)	救急救命士として必要な知識を総合的に身につけ、国家試験に合格ができる。
	疾病救急医学	神経系疾患 Neural Diseases	必修	講義	15	(1)	神経の解剖・生理と主な疾患の症状・救急処置などを中心に理解する。
		呼吸系疾患 Respiratory Diseases	必修	講義	15	(1)	呼吸器の解剖・生理と主な疾患の症状・救急処置などを中心に理解する。
		循環系疾患 Circulatory Diseases	必修	講義	15	(1)	循環器の解剖・生理と主な疾患の症状・救急処置などを中心に理解する。
		消化・泌尿・生殖系疾患 Gastrointestinal・Urological・Genital Diseases	必修	講義	15	(1)	消化器・泌尿・生殖器の解剖・生理と主な疾患の症状・救急処置などを中心に理解する。
		代謝・内分泌・栄養系・血液・免疫系疾患 Metabolism・Endocrine・Nutritional・Blood & Immune system Diseases	必修	講義	15	(1)	代謝・内分泌・栄養系・血液・免疫系疾患の主な症候、観察、判断、処置などを中心に理解する。
		筋・骨格系疾患 Musculo-Skeletal Diseases	必修	講義	15	(1)	筋・骨格系の解剖・生理と主な疾患の症状・救急処置などを中心に理解する。

2025年度 教科課程

救急救命士科

区分	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	(単 位 数)	講義概要	
専 門 分 野	疾 病 救 急 医 学	皮膚系・感覚器疾患・感染症 Skin Diseases・Sensory organ diseases・Infection	必修	講義	15	(1)	皮膚系疾患、感覚器疾患や各種感染症の主な症候、観察、判断、処置などを中心に理解する。
		小児科疾患 Pediatrics & Emergencies	必修	講義	15	(1)	小児・新生児疾患の主な症候、観察、処置などを中心に理解する。
		高齢者疾患 Geriatrics & Emergencies	必修	講義	15	(1)	高齢者疾患の主な症候、観察、処置などを中心に理解する。
		妊娠・分娩と救急疾患 Pregnacy・Delivery & Emergencies	必修	講義	15	(1)	妊娠に関する基本的理解と正常分娩の経過、分娩介助について理解する。また、異常妊娠や異常分娩の病態、症候、対応について理解する。
		精神障害 Psychiatric Disorder	必修	講義	15	(1)	精神障害の特殊性と搬送先の選定、入院形態を理解する。
	外 傷 救 急 医 学	外傷総論 Principles of Trauma	必修	講義	15	(1)	外傷の疫学、外傷システムとロードアンドゴーについて理解し、外傷の現場活動について理解する。
		外傷救急医学Ⅰ Emergency Medicine of Trauma I	必修	講義	30	(2)	各外傷についての受傷機転、発生機序、病態、症状、所見及び予後等や救急処置・搬送方法を理解する。
		外傷救急医学Ⅱ Emergency Medicine of Trauma II	必修	講義	15	(1)	外傷患者における生体反応や受傷機転から特徴、外傷性ショックについて学び、現場活動を身につける。
	急 環 境 障 害 学 ・ 中 毒 学	中毒・環境障害 Poisoning・Environmental Diseases	必修	講義	15	(1)	中毒の病態生理と、環境因子による障害の発生機序、病態、症状、所見及び救急処置法を中心に理解する。
	臨 地 実 習	シミュレーション実習Ⅰ Simulation Training I	必修	実習	495	(11)	シミュレーション実習を通し傷病者や関係者に対する接遇や観察・判断・処置に必要な知識や基本的な技術を身につける。
シミュレーション実習Ⅱ Simulation Training II		必修	実習	495	(11)	1年次に身につけた基本的な手技を基に、シミュレーション実習を通して応用力を身につける。傷病者に応じて臨機応変な対応が出来る、的確な医療機関へ搬送する等一連の流れを身につける。	
臨床実習 Clinical Training		必修	実習	180	(4)	傷病者に対する救急隊の現場活動や病院内での観察、処置など実際の医療現場を通じて、医療人として知識・技術・接遇を身につけ、病院前救護に活かすことができる。	